

特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第14期1月度理事会議事録

- I. 日 時：平成29年1月28日（土）13:15～16:45
- II. 場 所：東京都千代田区 東京国際フォーラムガラス棟G408会議室
- III. 出席者数：理事総数19名 出席理事数19名（内委任出席5名）
- IV. 出席理事氏名：武見ゆかり（理事長・議長）、鈴木公（副理事長）、赤松利恵、川久保清、川島由起子、酒井徹（第64回学術総会会長）、下浦佳之（途中退席・退席後の議事は委任出席）、瀧本秀美、塚原丘美、名和田清子、南久則、村山伸子（第65回学術総会会長）、八木典子、由田克士、荒川義人（委任出席）、石田裕美（委任出席）、上西一弘（委任出席）、笠原賀子（委任出席）、新澤祥恵（委任出席）

出席監事氏名：鈴木和春、林静子

その他の出席者：吉池信男（第63回学術総会会長）

V. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、瀧本秀美理事及び塚原丘美理事を選任することを全員異議なく承認した。

VI. 審議事項 ※（ ）は提案説明者

【I. 庶務関連事項】

1. 会員の異動（川島庶務担当理事）
 - （1）正会員の休会
 - （2）協力会員の入退会
2. 日本学術会議会員・連携会員の候補者に関する情報提供（武見理事長）
3. The IUNS Awards候補者の推薦（武見理事長）
4. 今後の会議予定（川島庶務担当理事）
5. 理事候補者選挙（事務局）

【II. 財務関連事項】

1. NPO第14期経費執行状況（塚原財務担当理事）
2. NPO第14期会員（会費納入）の状況（塚原財務担当理事）

【III. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告（瀧本理事・編集委員長）
2. 英語論文用の投稿規定の整備（瀧本理事・編集委員長）
3. 監修書籍の改訂（武見理事長）

【IV. 学術関連事項】

1. NPO第14期事業執行状況（赤松学術担当理事）
2. 第63回学術総会開催報告（吉池第63回学術総会会長）
3. 第64回学術総会開催状況（酒井第64回学術総会会長）
4. 29年度学会賞・奨励賞選考日程（武見理事長）
5. 管理栄養士の教育のあり方委員会報告－大学院調査－（武見理事長）
6. 「健康な食事」の推進について（赤松学術担当理事）
7. 実践栄養学研究セミナー－地方支部会での実施に向けて－（赤松学術担当理事）
8. 日本栄養学学術連合の設立（武見理事長）
9. 関連学協会等との連携（回覧資料）

- (1) 公益社団法人日本栄養士会「第9回栄養と健康を考える有識者の会」への出席〔副理事長〕
- (2) 一般社団法人全国栄養士養成施設協会「栄養士実力認定試験のあり方検討委員会」委員就任〔理事長〕
- (3) 国立大学法人東京大学総括プロジェクト機構総括寄付講座「食と生命」、ネスレ栄養科学会議、ネスレリサーチ東京「食と生命のサイエンス・フォーラム～ヒトの健康と腸内菌叢」後援
- (4) 公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「平成28年度食育健康サミット」後援
- (5) 公益社団法人日本小児科学会・公益社団法人日本小児保健協会・公益社団法人日本小児科医会、日本小児期外科系関連学会協議会「第11回子どもの食育を考えるフォーラム～みんなで考えよう幼児期の肥満～」後援
- (6) 公益社団法人日本栄養・食糧学会関東支部「第19回脂質栄養シンポジウム」後援
- (7) 一般社団法人臨床栄養実践協会「第4回記念セミナー」後援
- (8) 特定非営利活動法人国際生命科学研究機構「健康な食事研究シンポジウム」後援
- (9) 公益信託家政学研究助成基金「平成29年度研究助成金公募」周知協力
- (10) 一般社団法人日本有機資源協会「第4回食品産業もったいない大賞公募」、「食品産業でできる未利用熱の有効活用セミナー」周知協力
- (11) 乳の学術連合「平成29年度乳の学術連合学術研究公募」周知協力
- (12) 笹川スポーツ財団「2017年度笹川スポーツ研究助成募集」周知協力
- (13) 特定非営利活動法人日本高血圧学会「国際高血圧学会誘致活動支援」御礼
- (14) 文部科学省「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」理事長講演御礼

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業の充実
 - (1) 更新報告（酒井広報担当理事）
 - (2) 会員のページ（酒井広報担当理事）
2. 会員向けメールマガジン（酒井広報担当理事）

【VI. 国際関連事項】

1. IUNSワークショップ（村山国際担当理事）
2. 栄養改善事業の国際展開プラットフォーム事業（村山国際担当理事）
3. 栄養学雑誌サプリメント「日本とアジア・アフリカの学校給食に関する研究と発信」（村山国際担当理事）
4. ICN2021（武見理事長）

【VII. 支部会報告】

1. 支部会活動報告
 - (1) 北海道支部会（書面報告）
 - (2) 関東・甲信越支部会（書面報告）
 - (3) 北陸支部会（書面報告）
 - (4) 東海支部会（塚原理事・東海支部長）
 - (5) 近畿支部会（由田理事・近畿支部長）
 - (6) 中国支部会（名和田理事）
 - (7) 四国支部会（酒井理事・四国支部長）
 - (8) 九州・沖縄支部会（南理事・九州・沖縄支部長）

【VIII. 回覧資料による各種報告】

1. 複写に係る著作権使用料の分配報告（回覧資料）
 - (1) 一般社団法人出版社著作権管理機構（2015年度分）
2. 学会誌（学術総会講演要旨集）転載許諾
 - (1) 宮崎県工業技術センター

VII. 議事の経過の概要及び議決の結果

【I. 庶務関連事項】

1. 会員の異動
 - (1) 正会員の休会・・・1名の正会員から休会届の提出があったことが報告され、これを承認した（会員に関する細則第4条）。なお休会会員の氏名は個人情報保護の立場から非公開とする。
 - (2) 協力会員の入退会・・・次の3社の入会と、平成28年8月30日付で株式会社明治が退会したことが報告され、1月25日現在の協力会員名簿（21社・22口）が配付された。
 - 株式会社RDサポート（千代田区神田小川町1-1-15 D&F御茶の水ビル5階）
 - 株式会社ヘルスケアシステムズ（港区新橋4-6-15 日新建物新橋ビル7階）
 - 株式会社LIXIL（野田市中里3000）
2. 日本学術会議会員・連携会員の候補者に関する情報提供・・・日本学術会議会長の依頼により、本学会から4名の情報提供を行ったことが報告された。依頼者の意向により、提供した情報の公表は控える。
3. The IUNS Awards 候補者の推薦・・・日本学術会議IUNS分科会委員長の依頼により、living Legend 候補として小林修平名誉会員を推薦したことが報告された。
4. 今後の会議予定・・・平成29年1月以降の会議予定が配布された。主な予定は次のとおりである。
 - 次回理事会（5月予定）の開催日は、メールで日程調整を行うことを了承した。
 - 〔総会〕 9月13日
 - 〔評議員会〕 9月13日
 - 〔理事会〕 5月（日付は未定）、8月26日、11月1日
 - 〔監事会〕 8月26日
 - 〔役付理事打合せ〕 4月、7月、10月（日付は未定）
5. 理事候補者選挙・・・12月17日に開催した第1回理事候補者選挙管理委員会で決定した、支部会選出理事候補者定数について配付資料により報告された。栄養学研究の利益相反に関する指針の細則に基づき、役員候補者のCOI申告書の検証を行うため、理事候補者選挙スケジュールを調整したことが補足された。

【II. 財務関連事項】

1. NP0第14期経費執行状況・・・1月25日現在の経費執行状況（活動計算書、貸借対照表、事業別損益計算書、収支計算内訳書）が配付資料により報告された。介護支援取組助成金として60万円の助成金収入があること、第63回学術総会の会場で実施したICN募金は預り金に計上していることが説明され、これを承認した。
2. NP0第14期会員（会費納入）の状況・・・①今期の支部会別会員数（都道府県別付き）、②NP0第2期（平成16年度）から今期までの新規・継続別正会員数（全国、支部会別）、③NP0第10期（平成24年度）から今期までの支部会別正会員数（継続率付き）が配付され、会員の減少傾向が続いていることが報告された。昨年9月の評議員会で全評議員に会員の入会勧誘を呼びかけたが、引き続き、関係各位の協力をお願いする旨、理事長から発言があった。

【III. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告・・・12月31日現在の投稿論文の受付・審査・掲載状況、雑誌刊行

状況が配付資料により報告された。

2. 英語論文用の投稿規定の整備・・・2017年1月1日施行の投稿規定・執筆要領を翻訳した原案が配布された。本件は、持ち帰って審議することとし、原案に対する質疑・意見がある場合は、事務局にメールで提出することを了承した。
3. 監修書籍の改訂・・・「初めての栄養学研究論文（第一出版株式会社発行）」の改訂方針とスケジュールが配付資料により提案され、これを承認した。現版の在庫が1,422冊あることから、第2版として刊行するか、改訂箇所を挟み込む形とするかは、出版社と協議して決定することを了承した。

【IV. 学術関連事項】

1. NPO第14期事業執行状況・・・1月25日現在の事業執行状況が配付資料により報告された。
2. 第63回学術総会開催報告・・・事業概要の説明に続き、収支報告書（1月17日現在執行状況）が配布され、270万円程度の支出超過の見込みであることが報告された。学術総会会計を確認した税理士から、参加費の管理に適正を欠くなど会計管理が適切でなかった旨の、指導を受けたことが、理事長から報告された。本件の具体的な審議に先立ち、吉池学術総会会長に退出いただいた。

本学会の学術総会事業が支出超過となることは、過去になかった。理事会の基本方針として、災害や社会情勢の著しい変化などの影響により、当該学術総会の実施が著しく困難である場合を除き、学術総会事業は当該学術総会会長の責任の下、予算どおりに実施することが原則であることを確認した。まず、支出超過の内、今回に限り、消費税相当分は学会で対応することについて、審議し承認を得た。次に、過去に学術総会事業を担当した理事や、監事からの発言を踏まえて、支出超過分を第63回学術総会を担当した東北支部会の、全額負担とするか否かについて、採決を行った。採決に先立ち、鈴木監事から、64回・65回学術総会会長の立場である酒井理事・村山理事は、定款第40条第4項に定める「利害関係を有する」に該当することの指摘があり、両名は議決に加わらないことを確認した。これにより出席理事総数17名（ただし議長は可否同数の時に決する）、過半数9名で決することを承認し、採決に入った。支出超過分の負担について、採決の結果、「全額東北支部会が負担する 0票」、「一部本部が負担する 16票」で、一部本部が負担することを議決した。続いて、本部負担額について審議を行った。本学会では学術総会の運営に関する申し合わせで、学術総会の剰余金（上限100万円）を次年度の支部会活動費に追加することを定めている。税理士から、この考え方を踏襲し、本部負担額を100万円とすることが適当との助言を得ており、その案について採決を行った結果、「100万円とする 14票」、「100万円以上とする 2票」で、100万円を本部負担額とすることを議決した。鈴木監事から、学術総会執行部の責任について発言があり、理事長が同意を示した。

本件の審議を終了し、吉池学術総会会長に入室いただき、理事会決定事項として①第63回学術総会事業にかかる消費税は学会が負担すること、②支出超過の補填のため学会から100万円を拠出すること、③上記2つの事項を超える支出超過分は、東北支部会が責任を持って対処すること。ただし対処の期限については、一定期間の猶予を認めること、の3点を告げた。吉池学術総会会長はこれを承諾した。続けて、理事長が、学術総会会長であり今般の学術総会を担当した東北支部長としての責任について言及したところ、吉池学術総会会長から、責任を取って東北支部長を辞任する旨の発言があった。業者への未払い等があることから、第63回学術総会事業の今後の具体的な会計処理は、塚原財務担当理事に一任することを承認した。

また、第63回学術総会の参加者に実施したアンケート結果が配布され、学会ホームページに掲載することを承認した。

3. 第64回学術総会開催状況・・・参加費の支払にコンビニ決済を導入したい旨、提案があり、これを承認した。学術総会事業の適正会計に資するため、本部負担で会計ソフトを提供することを承認した。また、来期（NP0第15期）から学術総会事業にかかる本部経費（現地事務局との打合せ旅費、引継会経費等）の予算化について提案があり、予算作成時に検討することとした。
4. 29年度学会賞・奨励賞選考日程・・・次の選考日程を承認した。過去5年間の選考状況が配布され、推薦件数が極めて少ない実態を確認した。支部会、編集委員会からも積極的な候補者の推薦を期待する旨、理事長から発言があった。

[選考日程]

- 2月20日 候補者推薦依頼文書送付（全評議員）
- 2月下旬 栄養学雑誌第75巻第1号発送（学会賞・奨励賞候補者推薦依頼）
- 3月24日 推薦締切
- 4～5月 学会賞等選考委員会
- 5月 理事会（受賞者決定）

5. 管理栄養士の教育のあり方委員会報告—大学院調査—・・・一般社団法人全国栄養士養成施設協会と共同で、管理栄養士養成課程に付随する大学院の調査を実施することが配付資料により報告され、これを了承した。調査票の最終案を全理事にメールするので、意見をいただきたい旨、理事長から発言があった。
6. 「健康な食事」の推進について・・・事業の進捗状況と12月23日のWG会議の議事録が配付資料により報告され、これを了承した。
7. 実践栄養学研究セミナー—地方支部会での実施に向けて—・・・9月7日に開催した支部長会議の意見を踏まえ修正した、支部会実践栄養学研究セミナー事業申請要項が配布された。修正後の申請要項では、①本学会の事業として位置づけるため、事業費（上限10万円）の申請の有無にかかわらず、支部会がこの名称のセミナーを実施する場合は事業申請をすること、②本事業は今期から実施するが、すでに年度が始まっているため、今期に限り、事業の申請期限（実施4ヶ月前）は不問とすること（ただし、既に開始している事業については申請を受け付けない）、③事業費は1支部会10万円を上限とし、複数の支部会が共催で実施する場合も同様とする（2つの支部会が共催する場合は20万円を上限とする）こと、が説明され、これを承認した。
8. 日本栄養学学術連合の設立・・・1月21日に第1回会議が開催され、15学会の賛同を得て、日本栄養学学術連合が設立されたことが報告された。世話人は日本栄養改善学会（武見理事長）、副世話人は日本栄養・食糧学会（下村会長）と日本病態栄養学会（清野理事長）、監事は日本アミノ酸学会（加藤会長）が選出された。本学会が世話人となったことに伴い、連合の事務を本学会事務局が担うことが理事長から報告され、これを了承した。参加学会名簿、連合の運営方針・活動方針が配布された。
9. 関連学協会等との連携・・・次の事業について対応したことが回覧資料により報告され、これを了承した。
 - (1) 公益社団法人日本栄養士会「第9回栄養と健康を考える有識者の会」への出席〔副理事長〕
 - (2) 一般社団法人全国栄養士養成施設協会「栄養士実力認定試験のあり方検討委員会」委員就任〔理事長〕
 - (3) 国立大学法人東京大学総括プロジェクト機構総括寄付講座「食と生命」、ネスレ栄養科学会議、ネスレリサーチ東京「食と生命のサイエンス・フォーラム～ヒトの健康と腸内菌叢」後援
 - (4) 公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「平成28年度食育健康サミット」後援

- (5) 公益社団法人日本小児科学会・公益社団法人日本小児保健協会・公益社団法人日本小児科医会、日本小児期外科系関連学会協議会「第11回子どもの食育を考えるフォーラム～みんなで考えよう幼児期の肥満～」後援
- (6) 公益社団法人日本栄養・食糧学会関東支部「第19回脂質栄養シンポジウム」後援
- (7) 一般社団法人臨床栄養実践協会「第4回記念セミナー」後援
- (8) 特定非営利活動法人国際生命科学研究機構「健康な食事研究シンポジウム」後援
- (9) 公益信託家政学研究助成基金「平成29年度研究助成金公募」周知協力
- (10) 一般社団法人日本有機資源協会「第4回食品産業もったいない大賞公募」、「食品産業でできる未利用熱の有効活用セミナー」周知協力
- (11) 乳の学術連合「平成29年度乳の学術連合学術研究公募」周知協力
- (12) 笹川スポーツ財団「2017年度笹川スポーツ研究助成募集」周知協力
- (13) 特定非営利活動法人日本高血圧学会「国際高血圧学会誘致活動支援」御礼
- (14) 文部科学省「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」理事長講演御礼

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業の充実

- (1) 更新報告・・・1月25日までの更新情報が配布資料により報告された。
- (2) 会員のページ・・・運営上の技術的な点を事務局で確認していることが報告され、まずは、会員向けメールマガジン事業を優先することを了承した。

2. 会員向けメールマガジン・・・配信先、配信方法、配信頻度、スケジュールについて配付資料により提案があり、次のとおり承認した。

[会員向けメールマガジン]

配信先：正会員

配信方法：利便性とセキュリティ対策の両面から検討中。決定は広報担当理事に一任する。

配信頻度：定期配信（偶数月10日前後）と臨時配信。臨時配信のニュースソースは①本部臨時ニュース、②学術総会情報、③支部会事業情報、④加入団体の事業情報、⑤関連学協会の事業情報（ただし、本学会後援事業・協力事業に限る）、⑥その他前述の①～⑤に該当しない内容は、理事長・副理事長・広報担当理事に確認して決定

スケジュール：4月からメールマガジン事業のアナウンスを開始し、9月の通常総会を経て、10月に配信開始

【VI. 国際関連事項】

- 1. IUNSワークショップ・・・3月7日から9日に開催するワークショップについて、配付資料により進捗状況が説明され、これを了承した。
- 2. 栄養改善事業の国際展開プラットフォーム事業・・・食品産業センターの委託事業である「インドネシア職場の栄養改善プロジェクト」事業について、配付資料により進捗状況が説明され、これを了承した。
- 3. 栄養学雑誌サプリメント「日本とアジア・アフリカの学校給食に関する研究と発信」・・・配付資料により進捗状況が説明され、これを了承した。サプリメント刊行にかかる査読業務委託料は50万円程度であることが事務局から説明があり、本事業の円滑な推進のため広告協賛を募ることを承認した。
- 4. ICN2021・・・組織委員会の人選が行われ、プログラム・学術に村山国際担当理事、事務局に衛藤久美会員（本学会から推薦のICN組織委員会委員）が就任する予定であることが報告された。

【VII. 支部会報告】

1. 支部会活動報告

- (1) 北海道支部会・・・12月3日に藤女子大学で開催された、第14回支部会学術総会と第8回市民公開講座と、次回学術総会の企画等について、書面により報告があった。
- (2) 関東・甲信越支部会・・・2月12日に聖徳大学で開催する第4回支部会学術総会と、実践栄養学研究セミナーについて、書面により報告があった。
- (3) 北陸支部会・・・2月19日に福井県国際交流会館で開催する第12回支部会学術総会と、併催する市民公開講座について、書面により報告があった。
- (4) 東海支部会・・・第6回支部会学術総会は6月25日にウインクあいちで開催する。支部会学術総会の円滑な運営を目途に、同一会場での運営について検討している。
- (5) 近畿支部会・・・実践栄養学研究セミナーSTEP1を実施した結果、12月18日に神戸学院大学で開催した第15回支部会学術総会では、一般演題80演題の内、6演題がセミナー出席者の演題であった。学術総会では市民公開講座を併催し、また、若手の表彰事業を行った。実践活動報告の論文投稿を目指し、実践栄養学研究セミナーSTEP2を企画している。
- (6) 中国支部会・・・第13回支部会学術総会は7月8日～9日に市民公開講座とともに開催する。現時点では、実践栄養学研究セミナーの取り組みは行っていない。
- (7) 四国支部会・・・5～6月の開催を予定し、検討している。
- (8) 九州・沖縄支部会・・・9月17日に第4回支部会学術総会を中村学園大学で開催した。6月10日に中村学園大学で開催されるフードシステム学会2017年度大会で、本支部会が共催シンポジウムを行う。

【VIII. 回覧資料による各種報告】

1. 複写に係る著作権使用料の分配報告・・・回覧資料により報告があり、これを了承した。
 - (1) 一般社団法人出版社著作権管理機構（2015年度分）
2. 学会誌（学術総会講演要旨集）転載許諾・・・回覧資料により報告があり、これを了承した。
 - (1) 宮崎県工業技術センター

以上